

東京都

- 東京都の商業集積地区は駅周辺型が6割 -

東京都の卸売事業所数をみると、中央区が15.3%を占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業では千代田区、中央区、港区が東京都の72.2%を占め、これは全国でみても28.8%を占めています。小売年間商品販売額は中央区、新宿区、渋谷区で東京都の23.0%を占め、それぞれ1兆円を超えています。

業種別に年間商品販売額をみると、卸売業では繊維品卸売業の2位以外は全ての業種で全国1位となっています。小売業では農耕用品小売業と燃料小売業以外は全国1位となっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が全国で唯一50%を超えています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型が60.2%と高い割合となっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

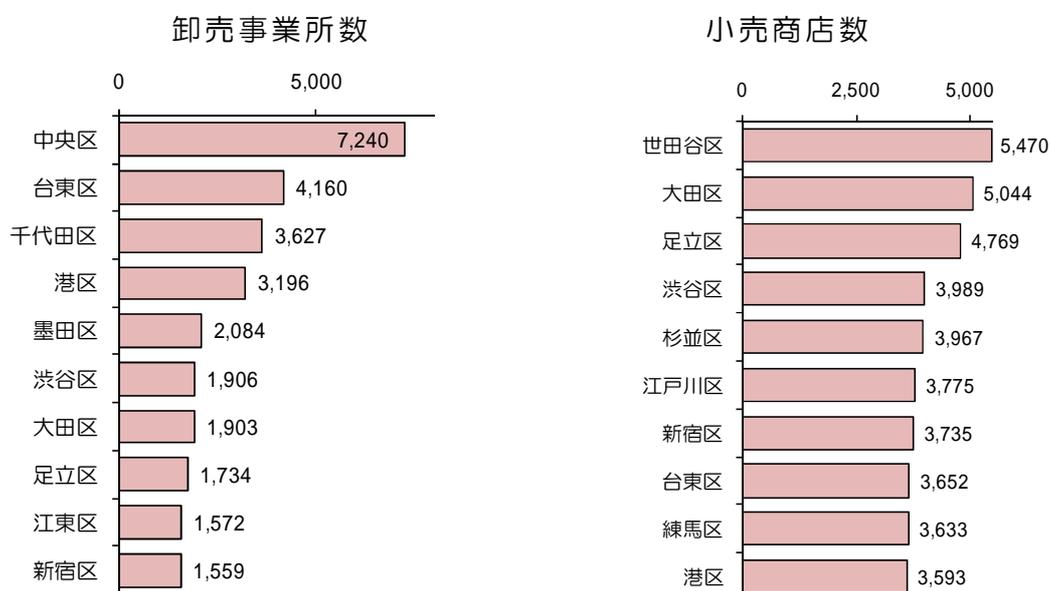
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
東京都計	149,965	1	1,699,450	1	182,211,327	1	
卸売業計	47,270	1	816,306	1	164,932,421	1	
業種別	各種商品卸売業	163	1	18,371	1	42,314,218	1
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	979	2	10,287	2	980,004	2
	衣服・身の回り品卸売業	5,180	1	84,353	1	5,120,541	1
	農畜産物・水産物卸売業	4,150	1	51,645	1	7,346,258	1
	食料・飲料卸売業	4,088	1	77,286	1	11,324,360	1
	建築材料卸売業	3,553	1	38,681	1	4,294,318	1
	化学製品卸売業	2,744	1	47,791	1	10,648,212	1
	鉱物・金属材料卸売業	2,443	1	43,526	1	23,519,795	1
	再生資源卸売業	1,136	1	7,156	1	635,935	1
	一般機械器具卸売業	3,447	1	59,555	1	6,378,837	1
	自動車卸売業	1,532	1	21,340	1	4,326,642	1
	電気機械器具卸売業	3,296	1	116,829	1	21,550,054	1
	その他の機械器具卸売業	2,307	1	43,750	1	4,015,833	1
	家具・建具・じゅう器等卸売業	1,736	1	20,898	1	1,343,069	1
	医薬品・化粧品等卸売業	1,921	1	46,573	1	7,053,072	1
	他に分類されない卸売業	8,595	1	128,265	1	14,081,276	1
	小売業計	102,695	1	883,144	1	17,278,905	1
	各種商品小売業	251	2	126,983	1	2,864,210	1
	織物・衣服・身の回り品小売業	18,949	1	106,587	1	1,952,121	1
	飲食料品小売業	34,578	1	332,444	1	4,681,155	1
自動車・自転車小売業	4,913	2	36,643	1	1,464,712	1	
家具・じゅう器・機械器具小売業	8,185	1	51,107	1	1,625,096	1	
その他小売業	35,819	1	229,380	1	4,691,611	1	
医薬品・化粧品小売業	8,120	1	59,731	1	1,193,843	1	
農耕用品小売業	116	43	451	45	7,460	46	
燃料小売業	2,235	4	16,571	5	537,250	5	
書籍・文房具小売業	5,485	1	53,474	1	916,231	1	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	2,779	1	19,552	1	447,258	1	
写真機・写真材料小売業	365	1	1,803	1	38,178	1	
時計・眼鏡・光学機械小売業	2,059	1	8,842	1	183,273	1	
他に分類されない小売業	14,660	1	68,956	1	1,368,119	1	

2. 市区別の状況

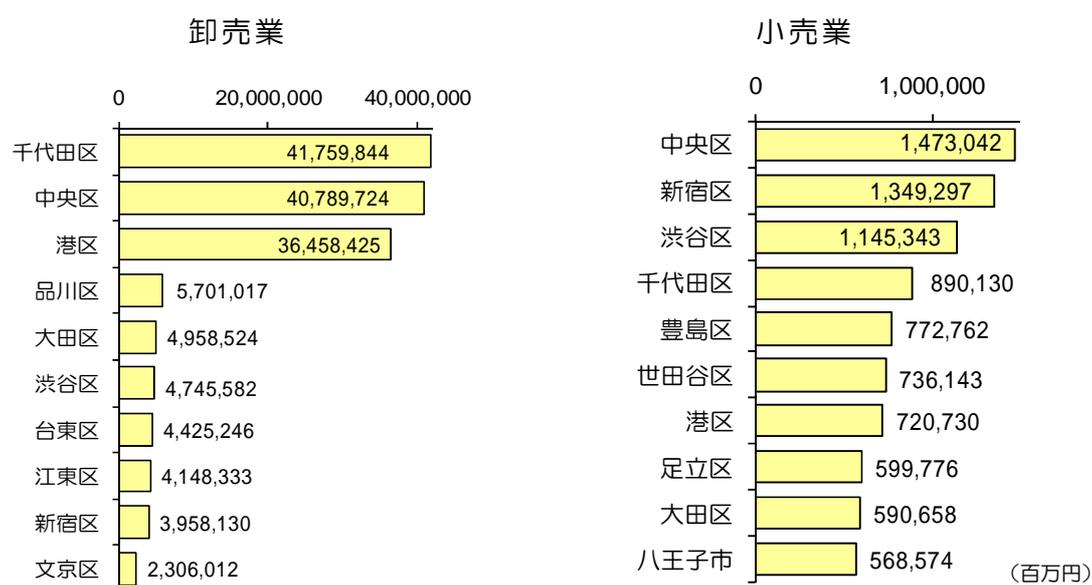
東京都の事業所数をみると、卸売事業所の15.3%を中央区が占め、最も高い割合となっています。小売商店は、世田谷区、大田区、足立区、渋谷区となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業は企業の本社が集中する千代田区、中央区、港区が多く、3区で東京の卸売業の72.2%を占めています。小売年間商品販売額では中央区、新宿区、渋谷区がそれぞれ1兆円を超え、3区で23.0%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市区】(平成19年)

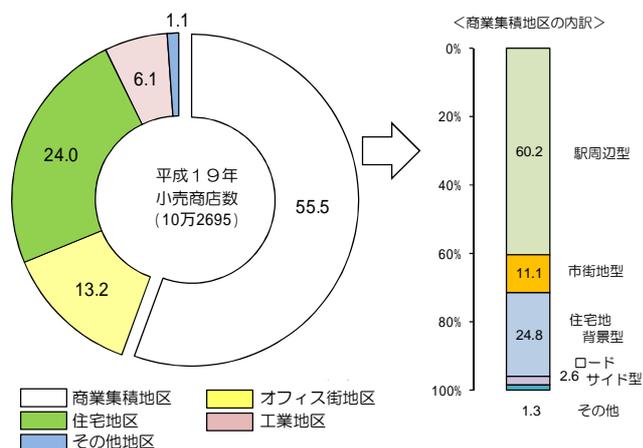


【年間商品販売額の上位10市区】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、55.5%が商業集積地区となり、全国で最も高い割合となっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型が60.2%と高い割合となっています。



	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	102,695	13.7
商業集積地区	57,018	11.8
駅周辺型	34,334	9.1
市街地型	6,338	12.0
住宅地背景型	14,156	19.4
ロードサイド型	1,473	1.7
その他	717	0.3
オフィス街地区	13,605	7.3
住宅地区	24,684	20.7
工業地区	6,279	10.0
その他地区	1,109	29.8

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「他の化学製品」いずれも10兆円を超えています。

小売品目では、「婦人服」、「書籍・雑誌」、パソコンなどが含まれる「電気事務機械器具」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

